



## INDEX

### 数字

802.1x アカウンティング

概要 [13-32](#)

### A

AAA ダウン ポリシー、NAC レイヤ 2 IP 検証 [1-9](#)

access-class コマンド [37-18](#)

ACE

IP [37-2](#)

QoS と [38-13](#)

イーサネット [37-2](#)

定義済み [37-2](#)

ACL

ACE [37-2](#)

IP

暗黙の拒否 [37-8, 37-12](#)

暗黙のマスク [37-12](#)

一致基準 [37-5](#)

作成する [37-5](#)

フラグメントと QoS の注意事項 [38-5](#)

未定義 [37-10](#)

IPv4

一致基準 [37-5](#)

インターフェイスに対して適用する [37-10, 37-18](#)

作成する [37-5](#)

数 [37-6](#)

端末回線、設定する [37-9, 37-18](#)

名前付き [37-8, 37-16](#)

非サポート機能 [37-1](#)

MAC 拡張 [37-11](#)

QoS [38-13, 38-37](#)

QoS クラス マップごとの数 [38-5](#)

QoS のトラフィックを分類する [38-37](#)

エントリの並べ替え [37-8](#)

拡張 IPv4

一致基準 [37-5](#)

作成する [37-7, 37-13](#)

コメント [37-9](#)

サポート [1-8](#)

サポートされるタイプ [37-2](#)

照合 [37-5, 37-10](#)

すべてのキーワード [37-15](#)

定義済み [37-1, 37-5](#)

適用する

QoS に対する [38-13](#)

インターフェイスに対する [37-10, 37-18](#)

時間範囲 [37-9, 37-17](#)

名前付き、IPv4 [37-8](#)

ハードウェアでのサポート [37-10](#)

ハードウェアとソフトウェアの処理 [37-10](#)

非サポート機能、IPv4 [37-1](#)

標準 IPv4

一致基準 [37-5](#)

作成する [37-12](#)

ポート [37-2](#)

ホスト キーワード [37-15](#)

例 [38-37](#)

ログイン メッセージ [37-6](#)

ARP

テーブル

アドレス解決 [7-9](#)

管理する [7-9](#)

定義済み [1-4, 7-9](#)

## Auto-MDIX

説明 15-10

**B**

## BackboneFast

説明 22-5

## Berkeley r-tool の置換 12-26

## BPDU

errdisable ステート 22-2

RSTP 形式 21-12

フィルタリング 22-3

## BPDU ガード

サポート 1-6

説明 22-2

## BPDU フィルタリング

サポート 1-6

説明 22-3

## broadcast storm-control コマンド 29-10

**C**

## Catalyst 6500 スイッチ

認証の互換性 13-8

## Catalyst 6500 スイッチとの認証の互換性 13-8

## CA トラストポイント

設定する 12-24

定義済み 12-24

## CDP

LLDP での定義 31-1

アップデート 32-2

概要 32-1

サポート 1-4

信頼境界と 38-27

スイッチ クラスタでの自動検出 6-5

設定 32-2

説明 32-1

送信タイマーとホールドタイム、設定する 32-2

モニタリング 32-3

## CGMP

IGMP スヌーピング ラーニング方式としての 28-7

スイッチ サポート 1-2

マルチキャスト グループに加入する 28-3

## CipherSuite 12-25

## CIP 設定 10-1

## CIP のイネーブル化 10-2

## Cisco 7960 IP フォン 19-1

## Cisco Discovery Protocol

「CDP」を参照

## Cisco Group Management Protocol

「CGMP」を参照

## Cisco IOS DHCP サーバ

「DHCP、Cisco IOS DHCP サーバ データベース」を参照

## Cisco IOS File System

「IFS」を参照

## Cisco IOS IP SLA 45-2

## Cisco Secure ACS

ダウンロード可能な ACL の属性と値のペア 13-20

リダイレクト URL の属性と値のペア 13-19

## Cisco Secure ACS 設定ガイド 13-48

## CiscoWorks 2000 1-3, 36-5

## CISP 13-29

## CIST リージョナル ルート

「MSTP」を参照

## CIST ルート

「MSTP」を参照

## CLI

エラー メッセージ 2-5

クラスタを管理する 6-13

コマンド出力のフィルタリング 2-10

コマンドの no 形式と default 形式 2-4

コマンドの短縮形 2-4

コマンド モード 2-1

コンフィギュレーション ロギング 2-5

説明 1-3

ヘルプを使用する 2-3

編集機能

イネーブルとディセーブル **2-7**  
 キーストローク編集 **2-7**  
 ラップされた行 **2-9**  
 履歴  
 コマンドを呼び出す **2-6**  
 説明 **2-6**  
 ディセーブルにする **2-7**  
 バッファ サイズを変更する **2-6**

Client Information Signalling Protocol  
 「CISP」を参照

CNS **1-4**

Configuration Engine  
 イベント サービス **5-3**  
 コンフィギュレーション サービス **5-3**  
 設定 ID、デバイス ID、ホスト名 **5-4**

管理機能 **1-3**  
 組み込みエージェント  
 イベント エージェントをイネーブルにする **5-7**  
 設定エージェントをイネーブルにする **5-8**  
 説明 **5-5**

CoA 要求コマンド **12-12**

Common Industrial Protocol (CIP) **10-1**

config.text **4-3**

configure terminal コマンド **15-11**

config-vlan モード **2-2**

CoS  
 オーバーライド プライオリティ **19-5**  
 信頼のプライオリティ **19-5**

CoS/DSCP マップ、QoS での **38-48**

CoS 出力キューしきい値マップ、QoS の **38-24**

CPU 使用率、トラブルシューティング **47-6**

crashinfo ファイル **47-5**

## D

### DAACL

「ダウンロード可能 ACL」を参照

### Default Router Preference

「DRP」を参照

default コマンド **2-4**

### DHCP

Cisco IOS サーバ データベース

説明 **25-6**

デフォルト設定 **25-8**

イネーブルにする

リレー エージェント **25-11**

### DHCP Option 82

回線 ID サブオプション **25-5**

概要 **25-3**

パケット形式、サブオプション

回線 ID **25-5**

リモート ID **25-5**

リモート ID サブオプション **25-5**

### DHCP オプション 82

設定時の注意事項 **25-9**

デフォルト設定 **25-8**

転送アドレス、指定する **25-10, 25-11**

ヘルパー アドレス **25-10**

### DHCP サーバ ポートベースのアドレス割り当て

イネーブルにする **25-14**

サポート **1-4**

説明 **25-10**

デフォルト設定 **25-10**

### DHCP スヌーピング

Option 82 データ挿入 **25-3**

信頼済みインターフェイス **25-2**

設定時の注意事項 **25-9**

デフォルト設定 **25-8**

バインディング データベース

「DHCP スヌーピング バインディング データベース」を参照

非信頼インターフェイス **25-2**

非信頼パケット形式エッジ スイッチを受信する **25-3, 25-12**

非信頼メッセージ **25-2**

メッセージ交換プロセス **25-4**

### DHCP スヌーピング バインディング データベース

エントリ **25-7**

説明 [25-7](#)

デフォルト設定 [25-8](#)

バインディング [25-7](#)

バインディング ファイル

形式 [25-7](#)

場所 [25-7](#)

表示

ステータスと統計情報 [25-15](#)

DHCP スヌーピング バインディング テーブル

「DHCP スヌーピング バインディング データベース」を参照

DHCP バインディング データベース

「DHCP スヌーピング バインディング データベース」を参照

DHCP バインディング テーブル

「DHCP スヌーピング バインディング データベース」を参照

DHCP ベースの自動設定

BOOTP との関係 [4-5](#)

クライアント要求メッセージの交換 [4-5](#)

サポート [1-4](#)

設定する

DNS サーバ [4-8](#)

TFTP サーバ [4-8](#)

クライアント側 [4-5](#)

サーバ側 [4-7](#)

リレー デバイス [4-9](#)

リース オプション

IP アドレス情報 [4-7](#)

設定ファイルを受信する [4-7](#)

リレー サポート [1-4](#)

DNS

DHCP ベースの自動設定と [4-8](#)

IPv6 での [42-3](#)

概要 [7-4](#)

サポート [1-4](#)

デフォルト設定 [7-4](#)

DRP

IPv6 [42-4](#)

設定 [42-8](#)

説明 [42-4](#)

DSCP [1-10, 38-2](#)

DSCP/CoS マップ、QoS での [38-49](#)

DSCP/DSCP 変換マップ、QoS での [38-30, 38-50](#)

DSCP 出力キューしきい値マップ、QoS の [38-24](#)

DSCP 透過性 [38-27, 38-35](#)

DTP [1-7, 17-10](#)

dynamic auto trunking モード [17-10](#)

dynamic desirable trunking モード [17-10](#)

Dynamic Host Configuration Protocol

「DHCP ベースの自動設定」を参照

Dynamic Trunking Protocol (ダイナミック トランキンング プロトコル)

「DTP」を参照

## E

ELIN ロケーション [31-3](#)

enable secret password [12-3](#)

errdisable ステート、BPDU [22-2](#)

EtherChannel

IEEE 802.3ad、説明 [40-6](#)

LACP

説明 [40-6](#)

他の機能との相互動作 [40-7](#)

ホットスタンバイ ポート [40-7](#)

モード [40-6](#)

PAgP

Catalyst 1900 との互換性 [40-5](#)

学習方式とプライオリティの設定 [40-5, 40-14](#)

仮想スイッチとの相互動作 [40-5](#)

サポート [1-2](#)

集約ポート ラーナー [40-5](#)

説明 [40-4](#)

他の機能との相互動作 [40-6](#)

デュアルアクションの検出での [40-5](#)

モード [40-4](#)

自動作成 [40-4, 40-6](#)

設定時の注意事項 [40-11](#)

設定する

レイヤ 2 インターフェイス **40-12**

相互動作

STP での **40-11**

VLAN での **40-11**

チャンネル グループ

番号付け **40-3**

物理インターフェイスと論理インターフェイスの  
バインディング **40-3**

デフォルト設定 **40-10**

転送方式 **40-8, 40-14**

ポート グループ **15-4**

ポートチャンネル インターフェイス

説明 **40-3**

ロード バランシング **40-8, 40-14**

論理インターフェイス、説明 **40-3**

EtherChannel ガード

説明 **22-7**

EUI **42-3**

Express Setup **1-2**

「スタートアップ ガイド」も参照

Extensible Authentication Protocol over LAN **13-1**

## F

fa0 インターフェイス **1-5**

FCS Bit Error Rate アラーム

設定 **3-8**

定義 **3-3**

FCS エラー ヒステリシスしきい値 **3-2**

Flex Link

VLAN **24-2**

設定時の注意事項 **24-6**

説明 **24-1**

デフォルト設定 **24-5**

優先 VLAN の設定 **24-13**

リンク ロード バランシング **24-2**

Flex Link マルチキャスト高速コンバージェンス **24-3**

FTP

イメージ ファイル

アップロードする **A-33**

サーバを準備する **A-30**

ダウンロードする **A-31**

古いイメージを削除する **A-33**

設定ファイル

アップロードする **A-16**

概要 **A-14**

サーバを準備する **A-14**

ダウンロードする **A-15**

## G

get-bulk-request オペレーション **36-4**

get-next-request オペレーション **36-4, 36-5**

get-request オペレーション **36-4, 36-5**

get-response オペレーション **36-4**

GUI

「デバイス マネージャと Network Assistant」を参照

## H

HP OpenView **1-3**

HTTP over SSL

「HTTPS」を参照

HTTPS **12-24**

自己署名証明書 **12-25**

設定する **12-43**

HTTP セキュア サーバ **12-24**

## I

ICMP

IPv6 **42-3**

traceroute と **47-4**

時間超過メッセージ **47-4**

到達不能と ACL **37-11**

到達不能メッセージ **37-10**

## ICMP ping

概要 47-2

実行する 47-10

## ICMPv6 42-3

## ICMP エコー動作

IP SLA 45-6

## IEEE 802.1D

「STP」を参照

## IEEE 802.1p 19-1

## IEEE 802.1Q

設定の制限 17-10

タグなしトラフィック用ネイティブ VLAN 17-13, 17-21

トランク ポートと 15-3

## IEEE 802.1s

「MSTP」を参照

## IEEE 802.1w

「RSTP」を参照

## IEEE 802.3ad

「EtherChannel」を参照

## IEEE 802.3x フロー制御 15-9, 15-15

## ifIndex 値、SNMP 36-7

## IFS 1-5

## IGMP

join メッセージ 28-3

クエリー 28-4

サポート 1-2

サポートされるバージョン 28-3

設定可能な脱退タイマー

説明 28-6

脱退処理、イネーブルにする 44-6, 44-8

フラッドしたマルチキャスト トラフィック

インターフェイス上でディセーブルにする 28-8

クエリー送信要求 28-8

グローバルな脱退 28-8

時間の長さを制御する 28-8

フラッドモードから回復する 28-8

マルチキャスト グループから脱退する 28-5

マルチキャスト グループに加入する 28-3

レポート抑制

説明 28-6

## IGMP グループ

最大番号を設定する 28-1

フィルタリングを設定する 28-14

## IGMP スヌーピング

アドレス エイリアス設定 28-2

イネーブルとディセーブル 28-15, 44-6, 44-7

クエリア

設定する 28-8

サポート 1-2

サポートされるバージョン 28-3

即時脱退 28-5

定義 28-2

デフォルト設定 28-7, 44-5

方式 28-7

モニタリング 44-10

## IGMP スロットリング

設定する 28-14

説明 28-13

デフォルト設定 28-14

## IGMP 即時脱退

説明 28-5

## IGMP フィルタリング

サポート 1-3

設定する 28-14

説明 28-13

デフォルト設定 28-14

## IGMP プロファイル

コンフィギュレーション モード 28-14

適用する 28-14

## IGMP ヘルパー 1-3

interfaces range macro コマンド 15-13

## IP ACL

QoS 分類の 38-13

暗黙の拒否 37-8, 37-12

暗黙のマスク 37-12

名前付き 37-8

- 未定義 37-10
- ip igmp profile コマンド 28-14
- IP precedence 38-2
- IP precedence/DSCP マップ、QoS での 38-49
- IP SLA
  - ICMP エコー動作 45-6
  - SNMP サポート 45-2
  - UDP ジッター動作 45-6
  - 応答側
    - 説明 45-3
  - 応答時間 45-4
  - サポートされるメトリック 45-2
  - しきい値のモニタリング 45-5
  - スケジューリング 45-5
  - 制御プロトコル 45-3
  - 定義 45-1
  - 動作 45-3
  - ネットワーク パフォーマンスを測定する 45-3
  - 利点 45-2
- IP traceroute
  - 概要 47-4
  - 実行する 47-11
- IPv4 ACL
  - インターフェイスに対して適用する 37-10, 37-18
  - 拡張、作成する 37-7, 37-13
  - 名前付き 37-8, 37-16
  - 標準、作成する 37-12
- IPv4 と IPv6
  - デュアル プロトコル スタック 42-5
- IPv6
  - Default Router Preference (DRP) 42-4
  - ICMP 42-3
  - SDM テンプレート 11-3, 44-1
  - アドレス 42-2
  - アドレス フォーマット 42-2
  - アドレスを割り当てる 42-7
  - アプリケーション 42-4
  - サポート機能 42-2
  - 自動設定 42-4
  - スタティック ルートの概要 42-5
  - ステートレス自動設定 42-4
  - 定義済み 42-1
  - 転送する 42-7
  - ネイバー探索 42-4
- IP アドレス
  - 128 ビット 42-2
  - IPv6 42-2
  - IP ルーティング 41-3
    - クラス 41-3
    - クラスタ アクセス 6-3
    - 検出する 7-9
    - 候補またはメンバ 6-2, 6-11
    - コマンド スイッチ 6-1, 6-11
    - スタンバイ コマンド スイッチ 6-11
    - 「IP 情報」も参照
- IP サービス レベル契約
  - 「IP SLA」を参照
- IP サービス レベル、分析する 45-1
- IP 情報
  - 割り当て
    - DHCP ベースの自動設定を介して 4-4
    - 手動で 4-16
- IP ソース ガード
  - 802.1x と 27-4
  - DHCP スヌーピングと 27-2
  - EtherChannels と 27-4
  - TCAM エントリと 27-4
  - VRF と 27-4
  - 設定時の注意事項 27-4
  - 説明 27-2
  - 送信元 IP アドレスと MAC アドレスのフィルタリング 27-2
  - 送信元 IP アドレスのフィルタリング 27-2
  - トランク インターフェイスと 27-4
  - バインディング設定
    - 自動的な 27-2
    - 手動での 27-2
  - バインディング テーブル 27-2

## フィルタリング

送信元 IP アドレス [27-2](#)送信元 IP アドレスと MAC アドレス [27-2](#)プライベート VLAN の [27-4](#)ポートセキュリティと [27-4](#)ルーテッドポートと [27-4](#)

## IP 電話

QoS でポートセキュリティを確立する [38-27](#)QoS と [19-1](#)QoS の信頼境界 [38-27](#)自動分類とキューイング [39-3](#)

## IP プロトコル

ACL での [37-14](#)

## IP ポートセキュリティ、スタティック ホスト用

PVLAN ホストポートでの [27-6](#)

## IP マルチキャストルーティング

IGMP スヌーピングと [28-2](#)

## IP ユニキャストルーティング

## IP アドレス指定

クラス [41-3](#)設定 [41-3](#)SVI を使用 [41-3](#)VLAN 間 [41-2](#)イネーブル化 [41-3](#)サブネットマスク [41-4](#)スタティック ルートの設定 [41-4](#)設定する手順 [41-3](#)レイヤ 3 インターフェイスへの IP アドレスの割り当て [41-4](#)

## IP ルーティング

イネーブル化 [41-3](#)インターフェイスを接続する [15-5](#)

## J

join メッセージ、IGMP [28-3](#)

## K

## KDC

説明 [12-18](#)

「Kerberos」も参照

## Kerberos

KDC [12-18](#)TGT [12-20](#)暗号化ソフトウェア イメージ [12-18](#)クレデンシヤル [12-18](#)サーバ [12-19](#)サポート [1-9](#)設定 [12-21](#)説明 [12-18](#)操作 [12-20](#)チケット [12-18](#)

認証する

KDC [12-20](#)境界スイッチ [12-20](#)用語 [12-19](#)レルム [12-19](#)

## L

l2nat [46-1](#)

## LACP

「EtherChannel」を参照

LDAP [5-3](#)

LED、スイッチ

「ハードウェア インストレーション ガイド」を参照

Lightweight Directory Access Protocol

「LDAP」を参照

Link Aggregation Control Protocol

「EtherChannel」を参照

Link Fault アラーム [3-3](#)

## LLDP

イネーブルにする [31-5](#)サポートされる TLV [31-2](#)スイッチ スタックの考慮事項 [31-2](#)



## 設定

デフォルト設定 [31-4](#)

## 設定する

特性 [31-6](#)送信タイマーとホールドタイム、設定する [31-6](#)モニタリングとメンテナンス [31-9](#)

## LLDP-MED

概要 [31-2](#)サポートされる TLV [31-2](#)モニタリングとメンテナンス [31-9](#)LRE プロファイル、スイッチ クラスタでの考慮事項 [6-13](#)**M**

## MAB

「MAC 認証バイパス」を参照

MAB エージング タイム [1-7](#)

MAB 非アクティビティ タイマー

デフォルト設定 [13-31](#)範囲 [13-34](#)MAC/PHY コンフィギュレーション ステータス TLV [31-2](#)

## MAC アドレス

ACL での [37-11](#)VLAN との対応付け [7-5](#)アドレス テーブルを構築する [7-5](#)エージング タイム [7-6](#)検出する [7-9](#)

スタティック

許可する [7-8](#)特性 [7-7](#)

ダイナミック

ラーニング [7-5](#)MAC アドレス /VLAN マッピング [17-15](#)MAC アドレス通知、サポート [1-11](#)

MAC アドレス テーブル移動更新

設定時の注意事項 [24-6](#)設定する [24-8](#)説明 [24-4](#)デフォルト設定 [24-5](#)MAC アドレス ラーニング [1-4](#)

MAC 拡張アクセス リスト

QoS 分類の [38-10](#)作成する [37-11](#)定義済み [37-11](#)レイヤ 2 インターフェイスに対して適用する [37-12](#)MAC 認証バイパス [13-34](#)

「MAB」を参照

概要 [13-14](#)

## MDA

設定時の注意事項 [13-10 ~ 13-11](#)説明 [1-8, 13-10](#)認証プロセスでの例外 [13-5](#)

## MIB

SNMP の相互作用 [36-5](#)概要 [36-2](#)mrouter ポート [24-3, 24-11](#)

## MSTP

BPDU ガード

説明 [22-2](#)

BPDU フィルタリング

説明 [22-3](#)CIST、説明 [21-3](#)CIST リージョナル ルート [21-3, 21-5](#)CIST ルート [21-5](#)

CST

定義 [21-3](#)リージョン間の動作 [21-3](#)

EtherChannel ガード

説明 [22-7](#)

IEEE 802.1D との相互運用性

移行プロセスの再起動 [21-17](#)説明 [21-8](#)

IEEE 802.1s

実装 [21-6](#)ポートの役割名の変更 [21-6](#)用語 [21-5](#)

## IST

- 定義 [21-2](#)
- マスター [21-3](#)
- リージョン内の動作 [21-3](#)

## MST リージョン

- CIST [21-3](#)
- IST [21-2](#)
- サポートされるスパニングツリー インスタンス [21-2](#)
- 設定 [21-17](#)
- 説明 [21-2](#)
- ホップ カウント メカニズム [21-5](#)

## Port Fast

- 説明 [22-1](#)

Port Fast 対応ポートのシャットダウン [22-2](#)VLAN と MST インスタンスのマッピング [21-17](#)インターフェイスの状態、転送のブロッキング  
グ [22-1](#)概要 [21-2](#)

## 拡張システム ID

- 異常動作 [21-15](#)
- セカンダリ ルート スイッチへの影響 [21-16](#)
- ルート スイッチへの影響 [21-15](#)

## 境界ポート

- 設定時の注意事項 [21-15](#)
- 説明 [21-6](#)

サポートされるインスタンス [20-9](#)サポートされるオプション機能 [1-6](#)

## 設定

- MST リージョン [21-17](#)
- 高速コンバージェンス用リンク タイプ [21-16](#)
- セカンダリ ルート スイッチ [21-16](#)
- ネイバー タイプ [21-17](#)
- パス コスト [21-16](#)
- ポート プライオリティ [21-16](#)
- ルート スイッチ [21-15, 21-18](#)

設定時の注意事項 [21-14](#)デフォルト設定 [21-14](#)モード間での相互運用性と互換性 [20-10](#)モードのイネーブル化 [21-17](#)

## ルート ガード

- 説明 [22-8](#)

## ルート スイッチ

- 異常動作 [21-15](#)
- 拡張システム ID の影響 [21-15](#)
- 設定 [21-15](#)

ルート スイッチ選択を防止する [22-8](#)

## ループ ガード

- 説明 [22-9](#)

## multiauth

- アクセス不能認証バイパスのサポート [13-23](#)

## multiauth モード

- 「複数認証モード」を参照

multicast storm-control コマンド [29-10](#)

## MVR

- IGMPv3 と [28-13](#)
- アドレスのエイリアス [28-12](#)
- アプリケーション例 [28-10](#)
- グローバル パラメータを設定する [28-18](#)
- 説明 [28-9](#)
- デフォルト設定 [28-12](#)
- マルチキャスト TV アプリケーション [28-10](#)
- モード [28-19](#)

## N

## NAC

- AAA ダウン ポリシー [1-9](#)
- RADIUS サーバを使用した IEEE 802.1x 検証 [13-46](#)
- RADIUS サーバを使用した IEEE 802.1x 認証 [13-46](#)
- アクセス不能認証バイパス [1-9, 13-44](#)
- クリティカル認証 [13-44](#)
- レイヤ 2 IEEE 802.1x 検証 [1-9, 13-27, 13-46](#)
- レイヤ 2 IP 検証 [1-9](#)

## NameSpace Mapper

- 「NSM」を参照

**NEAT**概要 [13-28](#)設定する [13-48](#)**Network Admission Control****NAC****Network Assistant**スイッチをアップグレードする [A-24](#)説明 [1-3](#)利点 [1-2](#)no コマンド [2-4](#)**NSM** [5-4](#)**NTP**

## アソシエーション

定義済み [7-2](#)概要 [7-2](#)サポート [1-4](#)

## 時刻

サービス [7-2](#)同期をとる [7-2](#)層 [7-2](#)文字出力の説明 [47-10](#)**Port Aggregation Protocol**

「EtherChannel」を参照

**Port Fast**サポート [1-6](#)説明 [22-1](#)モード、スパニングツリー [17-16](#)**Port not Forwarding** アラーム [3-3](#)**Port not Operating** アラーム [3-3](#)**PROFINET**設定 [9-4](#)デフォルト設定 [9-4](#)**PTP**設定 [8-3](#)設定の表示 [8-3, 8-4](#)デフォルト設定 [8-2](#)**PVST+**IEEE 802.1Q トランキングの相互運用性 [20-10](#)サポートされるインスタンス [20-9](#)説明 [20-9](#)**O****Open1x**設定する [13-50](#)**Open1x 認証**概要 [13-28](#)**Open DeviceNet Vendors Association (ODVA)** [10-1](#)**P****PAgP**

「EtherChannel」を参照

**Per-VLAN Spanning-Tree plus**

「PVST+」を参照

**PIM-DVMRP、スヌーピング方式としての** [28-7](#)**ping**概要 [47-2](#)実行する [47-10](#)**Q****QoS**DSCP 透過 [38-27, 38-35](#)**IP 電話**検出と信頼済みの設定 [38-27, 39-3](#)自動分類とキューイング [39-3](#)MQC コマンドと [38-2, 39-2](#)QoS ラベル、定義済み [38-4](#)暗黙の拒否 [38-13](#)基本モデル [38-4](#)

## キュー

SRR、説明 [38-20](#)WTD、説明 [38-19](#)高優先順位（緊急） [38-25, 38-57](#)出力特性を設定する [38-31, 38-53](#)入力特性を設定する [38-30, 38-50](#)場所 [38-19](#)

## クラス マップ

設定する **38-39**表示 **38-58**グローバルにイネーブルにする **38-32**再書き込み **38-25**サポート **1-10**

## 自動 QoS

VoIP 用にイネーブル化 **39-8**実行コンフィギュレーションでの影響 **39-8**出力キューのデフォルト **39-3**生成コマンドのリスト **39-5**生成コマンドを表示する **39-8**ディセーブルにする **39-8**トラフィックを分類する **39-3**入力キューのデフォルト **39-3**出力インターフェイスで帯域幅を制限する **38-57**

## 出力キュー

DSCP 値または CoS 値のマッピング **38-55**SRR の共有重みを設定する **38-56**SRR のシェーピング重みを設定する **38-55**WTD しきい値の設定 **38-31, 38-54**WTD、説明 **38-24**スケジューリング、説明 **38-4**説明 **38-4**バッファ領域を割り当てる **38-31, 38-54**バッファ割り当てスキーム、説明 **38-23**フローチャート **38-23**

## 信頼状態

信頼済みデバイス **38-27, 38-34**説明 **38-10**ドメイン内 **38-26, 38-33**別のドメインとの境界 **38-28, 38-35**

## 設定する

DSCP の透過性 **38-27, 38-35**DSCP マップ **38-48**IP 標準 ACL **38-37**集約ポリシング機能 **38-47**出力キューの特性 **38-31, 38-53**信頼境界 **38-27, 38-34**デフォルト ポート CoS 値 **38-33**ドメイン内のポートの信頼状態 **38-26, 38-33**入力キューの特性 **38-30, 38-50**別のドメインとの境界での DSCP 信頼状態 **38-28, 38-35**ポリシー マップ、階層型 **38-29, 38-43**デフォルト自動設定 **39-3**デフォルトの標準設定 **38-6**統計情報を表示する **38-58**

## 入力キュー

DSCP 値または CoS 値のマッピング **38-50**SRR の共有重みを設定する **38-52**WTD しきい値の設定 **38-50**WTD、説明 **38-22**しきい値マップを表示する **38-58**スケジューリング、説明 **38-4**説明 **38-4**帯域幅を割り当てる **38-52**バッファと帯域幅の割り当て、説明 **38-22**バッファ領域を割り当てる **38-51**プライオリティ キュー、説明 **38-22**プライオリティ キューを設定する **38-30, 38-53**フローチャート **38-21**パケットの変更 **38-25**

## フローチャート

出力キューイングとスケジューリング **38-23**入力キューイングとスケジューリング **38-21**分類 **38-12**ポリシングとマーキング **38-16**

## 分類

DSCP の透過性、説明 **38-27, 38-35**IP ACL、説明 **38-11, 38-13**IP トラフィックのオプション **38-11**MAC ACL、説明 **38-10, 38-13**クラス マップ、説明 **38-13**信頼 DSCP、説明 **38-10**信頼 IP precedence、説明 **38-10**信頼済み CoS、説明 **38-10**

定義済み [38-4](#)  
 転送処理 [38-3](#)  
 非 IP トラフィックのオプション [38-10](#)  
 フレームとパケットでの [38-3](#)  
 フローチャート [38-12](#)  
 ポリシー マップ、説明 [38-13](#)  
 ポリサー  
   設定 [38-43, 38-45](#)  
 ポリシー、インターフェイスに接続する [38-14](#)  
 ポリシー マップ  
   SVI での階層 [38-29](#)  
   階層 [38-14](#)  
   特性 [38-28](#)  
   表示する [38-58](#)  
   物理ポートでの非階層 [38-28](#)  
 ポリシング  
   説明 [38-4, 38-14](#)  
   トークン バケット アルゴリズム [38-15](#)  
 ポリシング機能  
   数 [38-6](#)  
   説明 [38-14](#)  
   タイプ [38-15](#)  
   表示する [38-58](#)  
 マーキング、説明 [38-4, 38-14](#)  
 マークダウン アクション [38-43, 38-45](#)  
 マッピング テーブル  
   CoS/DSCP [38-48](#)  
   DSCP/CoS [38-49](#)  
   DSCP/DSCP 変換 [38-30, 38-50](#)  
   IP precedence/DSCP [38-49](#)  
   タイプ [38-18](#)  
   表示する [38-58](#)  
   ポリシング済み DSCP [38-49](#)  
 QoS の CoS 入力キューしきい値マップ [38-22](#)  
 QoS の DSCP 入力キューしきい値マップ [38-22](#)  
 Quality Of Service  
   「QoS」を参照  
 Quality of Service  
   「QoS」を参照

## R

### RADIUS

AAA サーバ グループを定義する [12-16, 12-36](#)  
 概要 [12-8](#)  
 クラスタでの [6-12](#)  
 サーバを指定する [12-15](#)  
 サポート [1-9](#)  
 設定する  
   アカウントिंग [12-17, 12-38](#)  
   許可 [12-16, 12-38](#)  
   通信、グローバル [12-15, 12-38](#)  
   通信、サーバ単位 [12-15](#)  
   認証 [12-16, 12-37](#)  
   複数 UDP ポート [12-15](#)  
 操作 [12-9](#)  
 属性  
   ベンダー固有 [12-17](#)  
   ベンダー専用 [12-18, 12-39](#)  
 デフォルト設定 [12-10](#)  
 ネットワーク環境の提案 [12-8](#)  
 方式リスト、定義済み [12-16](#)  
 ユーザに対するサービスを制限する [12-16](#)  
 ユーザによってアクセスされるサービスをトラッキングする [12-17, 12-38](#)  
 RADIUS 許可の変更 [12-10](#)  
 Rapid Per-VLAN Spanning-Tree plus  
   「Rapid PVST+」を参照  
 Rapid PVST+  
   IEEE 802.1Q トランキングの相互運用性 [20-10](#)  
   サポートされるインスタンス [20-9](#)  
   説明 [20-9](#)  
 rcommand コマンド [6-13](#)  
 RCP  
   イメージ ファイル  
     アップロードする [A-38](#)  
     サーバを準備する [A-34](#)  
     ダウンロードする [A-36](#)  
     古いイメージを削除する [A-37](#)

## 設定ファイル

アップロードする [A-19](#)概要 [A-17](#)サーバを準備する [A-17](#)ダウンロードする [A-18](#)

## Remote Authentication Dial-In User Service

「RADIUS」を参照

Remote SPAN [30-3](#)

## REP

SNMP トラップ、設定 [23-13](#)VLAN ブロッキング [23-15](#)VLAN ロード バランシング [23-5](#)VLAN ロード バランシングのトリガー [23-6](#)エージング タイマー [23-9](#)オープンセグメント [23-2](#)および STP [23-7](#)管理 VLAN [23-9](#)コンバージェンス [23-5](#)サポートされるインターフェイス [23-2](#)手動によるプリエンプション、設定 [23-13](#)セカンダリ エッジ ポート [23-5](#)セグメント [23-2](#)特性 [23-3](#)設定時の注意事項 [23-8](#)デフォルト設定 [23-7](#)ネイバー オフセット番号 [23-5](#)プライマリ エッジ ポート [23-5](#)プリエンプション遅延時間 [23-6](#)ポート [23-7](#)リンク完全性の確認 [23-4](#)リングセグメント [23-2](#)

## Resilient Ethernet Protocol

「REP」を参照

## RFC

1112、IP マルチキャストと IGMP [28-2](#)1157、SNMPv1 [36-2](#)1166、IP アドレス [41-3](#)1305、NTP [7-2](#)1757、RMON [34-2](#)1901、SNMPv2C [36-2](#)1902 ~ 1907、SNMPv2 [36-2](#)2236、IP マルチキャストと IGMP [28-2](#)2273-2275、SNMPv3 [36-3](#)RFC 5176 規定 [12-11](#)

## RMON

アラームとイベントをイネーブルにする [34-3](#)概要 [34-1](#)サポート [1-12](#)サポートされるグループ [34-2](#)

統計情報

グループイーサネットを収集する [34-4](#)グループ履歴を収集する [34-4](#)

## RSPAN

VLAN ベース [30-6](#)宛先ポート [30-7](#)概要 [1-11](#), [30-2](#)受信トラフィック [30-5](#)

セッション

定義済み [30-3](#)設定時の注意事項 [30-10](#)送信トラフィック [30-5](#)送信元ポート [30-6](#)定義済み [30-3](#)デフォルト設定 [30-11](#)特性 [30-8](#)モニタリングされるポート [30-6](#)モニタリング ポート [30-7](#)

## RSTP

## BPDU

形式 [21-12](#)処理 [21-13](#)

## IEEE 802.1D との相互運用性

移行プロセスの再起動 [21-17](#)説明 [21-8](#)トポロジの変更 [21-13](#)

「MSTP」も参照

アクティブ トポロジ [21-9](#)概要 [21-8](#)

高速コンバージェンス  
 エッジポートおよび Port Fast **21-10**  
 説明 **21-10**  
 ポイントツーポイントリンク **21-10, 21-16**  
 ルートポート **21-10**  
 指定スイッチ、定義 **21-9**  
 指定ポート、定義 **21-9**  
 提案合意ハンドシェイク プロセス **21-10**  
 ポートの役割  
 説明 **21-9**  
 同期 **21-11**  
 ルートポート、定義 **21-9**

## S

### SCP

SSH と **12-26**

### SDM

テンプレート  
 数 **11-2**

### SDM テンプレート

設定する **11-4**  
 タイプ **11-2**  
 デュアル IPv4/IPv6 **11-3**

### SD フラッシュ メモリ カード **A-2**

### Secure **12-26**

Secure Copy Protocol 「SCP」を参照

### Secure Socket Layer

「SSL」を参照

### set-request オペレーション **36-5**

### SFP

ステータス、表示する **47-14**  
 セキュリティと識別情報 **47-2**  
 モニタリング ステータス **47-14**

### show access-lists hw-summary コマンド **37-11**

### show cdp traffic コマンド **32-3**

### show cluster members コマンド **6-13**

### show forward コマンド **47-14**

### show interfaces switchport **24-10**

### show interfaces コマンド **15-15**

### show lldp traffic コマンド **31-9**

### show platform forward コマンド **47-14**

show コマンドと more コマンドの出力、フィルタリング **2-10**

### shutdown コマンド、インターフェイスでの **15-19**

### SmartPort マクロ

グローバルパラメータ値の適用 **16-3**

設定時の注意事項 **16-2**

デフォルト設定 **16-1**

トレース **16-2**

### SNAP **32-1**

### SNMP

CPU しきい値通知を設定する **36-15**

ifIndex 値 **36-7**

IP SLA と **45-2**

MIB 変数にアクセスする **36-5**

TFTP サーバによるアクセスを制限する **36-16**

エージェント

説明 **36-5**

ディセーブルにする **36-10**

エンジン ID **36-1**

概要 **36-2, 36-5**

クラスタでの **6-12**

クラスタを管理する **6-14**

グループ **36-1, 36-11**

コミュニティ ストリング

概要 **36-5**

クラスタ スイッチの **36-5**

設定する **36-7, 36-10**

サポートされるバージョン **36-2**

システム接点と場所 **36-16**

システム ログ メッセージを NMS に対して制限する **35-9**

情報

説明 **36-6**

トラップ キーワードと **36-7, 36-13**

トラップとの違い **36-6**

セキュリティ レベル **36-3**

- 設定例 [36-16](#)
- 帯域内管理 [1-5](#)
- 通知 [36-6](#)
- デフォルト設定 [36-9](#)
- トラップ
  - MAC アドレス通知をイネーブルにする [7-14, 7-15](#)
  - イネーブルにする [36-7, 36-13](#)
  - 概要 [36-2, 36-5](#)
  - 情報との違い [36-6](#)
  - 説明 [36-4, 36-6](#)
  - タイプ [36-8](#)
  - トラップ マネージャ、設定する [36-13](#)
  - 認証レベル [36-12](#)
  - ホスト [36-1](#)
  - マネージャ機能 [1-3, 36-4](#)
  - ユーザ [36-1, 36-11](#)
- SNMPv1 [36-3](#)
- SNMPv2C [36-3](#)
- SNMPv3 [36-3](#)
- SNMP と Syslog、IPv6 による [42-6](#)
- SNMP トラップ
  - REP [23-13](#)
- SPAN
  - VLAN ベース [30-6](#)
  - 宛先ポート [30-7](#)
  - 概要 [1-11, 30-2](#)
  - 受信トラフィック [30-5](#)
  - セッション
    - 定義済み [30-3](#)
  - 設定時の注意事項 [30-9](#)
  - 送信トラフィック [30-5](#)
  - 送信元ポート [30-6](#)
  - デフォルト設定 [30-11](#)
  - ポート、制約事項 [29-8](#)
  - モニタリングされるポート [30-6](#)
  - モニタリング ポート [30-7](#)
- SRR
  - 共有モード [38-20](#)
- サポート [1-11](#)
- シェーピング モード [38-20](#)
- 設定する
  - 出力キューでの共有重み [38-56](#)
  - 出力キューでのシェーピング重み [38-55](#)
  - 入力キューでの共有重み [38-52](#)
- 説明 [38-20](#)
- SSH
  - 暗号化ソフトウェア イメージ [12-1, 12-22](#)
  - 暗号化方式 [12-22](#)
  - 説明 [1-5, 12-22](#)
  - ユーザ認証方式、サポートされる [12-22](#)
- SSL
  - 暗号化ソフトウェア イメージ [12-23](#)
  - セキュア HTTP クライアントを設定する [12-45](#)
  - 説明 [12-23](#)
- STP
  - BackboneFast
    - 説明 [22-5](#)
  - BPDU ガード
    - 説明 [22-2](#)
  - BPDU フィルタリング
    - 説明 [22-3](#)
  - BPDU メッセージ交換 [20-3](#)
  - EtherChannel ガード
    - 説明 [22-7](#)
  - IEEE 802.1D とブリッジ ID [20-4](#)
  - IEEE 802.1D とマルチキャスト アドレス [20-8](#)
  - IEEE 802.1Q トランクでの制限 [20-10](#)
  - IEEE 802.1t と VLAN 識別情報 [20-4](#)
  - Port Fast
    - 説明 [22-1](#)
  - Port Fast 対応ポートのシャットダウン [22-2](#)
  - UplinkFast
    - 説明 [22-3](#)
  - VLAN ブリッジ [20-10](#)
  - インターフェイスの状態
    - 概要 [20-4](#)
    - ディセーブル [20-7](#)



- 転送する [20-5, 20-6](#)
  - ブロッキング [20-6](#)
  - ラーニング [20-6](#)
  - リスニング [20-6](#)
  - インターフェイスの状態、転送のブロッキング [22-1](#)
  - および REP [23-7](#)
  - 下位 BPDU [20-3](#)
  - 拡張システム ID
    - 概要 [20-4](#)
    - セカンダリ ルート スイッチの影響 [20-12](#)
    - 予期しない動作 [20-12](#)
    - ルート スイッチの影響 [20-12](#)
  - 間接リンク障害を検出する [22-5](#)
  - サポートされるインスタンス [20-9](#)
  - サポートされるオプション機能 [1-6](#)
  - サポートされる機能 [1-6](#)
  - サポートされるプロトコル [20-9](#)
  - サポートされるモード [20-9](#)
  - 指定スイッチ、定義済み [20-3](#)
  - 指定ポート、定義済み [20-3](#)
  - 冗長接続性 [20-8](#)
  - 設定
    - セカンダリ ルート スイッチ [20-12, 20-16](#)
    - ポート プライオリティ [20-13, 20-17](#)
  - 設定時の注意事項 [20-13](#)
  - 設定する
    - スイッチ プライオリティ [20-17](#)
    - スパニングツリー モード [20-15](#)
    - パス コスト [20-13, 20-17](#)
    - ルート スイッチ [20-11, 20-16](#)
  - ディセーブルにする [20-11](#)
  - デフォルト設定 [20-11](#)
  - デフォルトのオプション機能設定 [22-9](#)
  - パス コスト [17-14](#)
  - マルチキャスト アドレス、影響 [20-8](#)
  - モード間での相互運用性と互換性 [20-10](#)
  - 優位 BPDU [20-3](#)
  - ルート ガード
    - 説明 [22-8](#)
  - ルート スイッチ
    - 拡張システム ID の影響 [20-4, 20-12](#)
    - 設定する [20-12](#)
    - 選択 [20-3](#)
    - 予期しない動作 [20-12](#)
    - ルート スイッチ選択を防止する [22-8](#)
    - ルート ポート選択のアクセラレーション [22-4](#)
    - ルート ポート、定義済み [20-3](#)
    - ループ ガード
      - 説明 [22-9](#)
    - ロード シェアリング
      - 概要 [17-13](#)
      - パス コストを使用する [17-14](#)
      - ポート プライオリティを使用する [17-13](#)
  - subnet mask [41-4](#)
  - SunNet Manager [1-3](#)
  - SVI
    - IP ユニキャスト ルーティング [41-3](#)
    - VLAN 間でのルーティング [17-2](#)
    - VLAN の接続 [15-5](#)
  - SVI autostate exclude
    - 設定する [15-10](#)
  - Switch Database Management
    - 「SDM」を参照
  - switchport backup interface [24-4, 24-11](#)
  - switchport block multicast コマンド [29-12](#)
  - switchport block unicast コマンド [29-12](#)
  - switchport protected コマンド [29-11](#)
  - switchport コマンド [15-7](#)
- 
- ## T
- TACACS+
    - アカウンティング、定義済み [12-6](#)
    - 概要 [12-5](#)
    - 許可、定義済み [12-6](#)
    - クラスタでの [6-12](#)
    - サーバを指定する [12-7, 12-32](#)

サポート **1-9**

設定する

- アカウントティング **12-8, 12-34**
- 許可 **12-7, 12-34**
- 認証キー **12-7, 12-32**
- ログイン認証 **12-7, 12-32**

操作 **12-6**

デフォルト設定 **12-7**

認証、定義済み **12-6**

ユーザに対するサービスを制限する **12-7**

ユーザによってアクセスされるサービスをトラッキングする **12-8, 12-34**

tar ファイル

- イメージファイルの形式 **A-25**
- 作成する **A-7**
- 抽出する **A-8**
- 内容を表示する **A-8**

TDR **1-12**

Telnet

- 管理インターフェイスにアクセスする **2-10**
- 接続数 **1-5**
- パスワードを設定する **12-29**

Terminal Access Controller Access Control System Plus

「TACACS+」を参照

TFTP

イメージファイル

- アップロードする **A-29**
- サーバを準備する **A-26**
- 削除する **A-28**
- ダウンロードする **A-27**

サーバによるアクセスを制限する **36-16**

自動設定を設定する **4-8**

設定ファイル

- アップロードする **A-13**
- サーバを準備する **A-12**
- ダウンロードする **A-12**

ベース ディレクトリの設定ファイル **4-8**

TFTP サーバ **1-4**

time-range コマンド **37-9**

TLV

- LLDP **31-2**
- LLDP-MED **31-2**
- 定義済み **31-2**

ToS **1-10**

traceroute コマンド **47-11**

「IP traceroute」も参照

traceroute、レイヤ 2

- 1 ポートに複数のデバイス **47-4**
- ARP **47-3**
- CDP **47-3**
- IP アドレスおよびサブネット **47-3**
- MAC アドレスおよび VLAN **47-3**
- 説明 **47-3**
- ブロードキャスト トラフィック **47-3**
- マルチキャスト トラフィック **47-3**
- ユニキャスト トラフィック **47-3**

tracerout、レイヤ 2

- 使用上の注意事項 **47-3**

---

## U

UDLD

イネーブル化

- グローバル **33-5**

イネーブルにする

- インターフェイスごとの **33-5**

インターフェイスをリセットする **33-6**

概要 **33-1**

検出メカニズムをエコーする **33-3**

サポート **1-6**

デフォルト設定 **33-4**

ネイバー データベース **33-3**

リンク検出メカニズム **33-2**

UDLD シャットダウン インターフェイスをリセットする **33-6**

UDP ジッター動作、IP SLA **45-6**

unicast storm control コマンド **29-10**

UNIX Syslog サーバ

サポートされる機能 35-4

デーモンの設定 35-4

メッセージロギング設定 35-10

## UplinkFast

説明 22-3

## V

### VLAN

ID 設定 17-8

STP と IEEE 802.1Q トランク 20-10

SVI による接続 15-5

VLAN データベースに追加する 17-7

VLAN ブリッジ STP 20-10

拡張範囲 17-8

機能 1-6

削除する 17-8, 17-18

サポートされる 17-2

サポートされる番号 1-6

図示 17-2

スタティック アクセス ポート 17-8, 17-18

スパンニングツリー インスタンスと 17-3, 17-7, 17-9

設定 17-1

設定時の注意事項、拡張範囲 VLAN 17-8

設定時の注意事項、標準範囲 VLAN 17-6

説明 15-2, 17-1

ダイナミック アドレスのエージング 20-9

追加 17-17

デフォルト設定 17-7

トークンリング 17-6

トラフィック 17-2

トランク上で許可される 17-12, 17-20

内部 17-9

ネイティブ、設定する 17-13, 17-21

パラメータ 17-5

標準範囲 17-4

変更する 17-17

ポート メンバーシップ モード 17-3

マルチキャスト 28-9

vlan.dat ファイル 17-4

VLAN 1、トランク ポート上でディセーブルにする 17-12

VLAN 1 の最小化 17-12

VLAN ID、検出する 7-9

VLAN Query Protocol

「VQP」を参照

VLAN 間ルーティング 41-2

VLAN 管理ドメイン 18-2

vlan グローバル コンフィギュレーション コマンド 17-5

VLAN コンフィギュレーション モード 2-2

VLAN 設定

起動時 17-5

保存 17-5

VLAN データベース

VLAN の保存 17-4

スタートアップ コンフィギュレーション ファイルと 17-5

保存されている VLAN 設定 17-5

VLAN トランッキング プロトコル

「VTP」を参照

VLAN トランク 17-9

VLAN のアドレス エージング タイム 7-6

VLAN の削除 17-8, 17-18

VLAN フィルタリングと SPAN 30-7

VLAN ブロッキング、REP 23-15

VLAN メンバーシップ

モード 17-3

VLAN ロード バランシング

REP 23-5

VLAN ロード バランシング、Flex Link の 24-2

設定時の注意事項 24-6

VLAN ロード バランシング、トリガー 23-6

VLAN 割り当て応答、VMPS 17-15

VMPS

MAC アドレスの VLAN へのマッピング 17-15

サーバアドレスを入力する 17-23

再確認間隔、変更する 17-17

設定時の注意事項 17-16

設定例 [17-24](#)

説明 [17-15](#)

ダイナミック ポート メンバーシップ

再確認する [17-17](#)

説明 [17-15](#)

トラブルシューティング [17-17](#)

デフォルト設定 [17-16](#)

Voice over IP [19-1](#)

VQP [1-6, 17-15](#)

VTP

アドバタイズメント [17-11, 18-4](#)

拡張範囲 VLAN と [17-3, 18-2](#)

クライアントをドメインに追加する [18-11, 18-14](#)

サポート [1-7](#)

使用する [18-2](#)

整合性検査 [18-5](#)

設定

注意事項 [18-10](#)

保存する [18-10](#)

設定の要件 [18-1, 20-1](#)

設定リビジョン番号

注意事項 [18-11, 18-14](#)

リセットする [18-15](#)

説明 [18-2](#)

デフォルト設定 [18-9](#)

トークンリングのサポート [18-5](#)

統計情報 [18-15](#)

ドメイン [18-2](#)

ドメイン名 [18-10](#)

トランスペアレント モード、設定 [18-4](#)

バージョン

イネーブルにする [18-13](#)

バージョン 1 [18-5](#)

バージョン 2

概要 [18-5](#)

設定時の注意事項 [18-6](#)

バージョン 3

概要 [18-6](#)

バージョン、注意事項 [18-6](#)

パスワード [18-11](#)

標準範囲 VLAN と [17-2, 18-2](#)

プルーニング

イネーブルにする [18-13](#)

概要 [18-8](#)

サポート [1-7](#)

例 [18-8](#)

プルーニング適格リスト、変更する [17-20](#)

モード

オフ [18-3](#)

クライアント [18-3](#)

サーバ [18-3](#)

トランスペアレント [18-3](#)

モニタリング [18-15](#)

---

## W

Web 認証 [13-14](#)

説明 [1-7](#)

Web ベース認証

カスタマイズ可能な Web ページ [14-6](#)

説明 [14-2](#)

Web ベース認証、他の機能との相互作用 [14-8](#)

Weighted Tail Drop

「WTD」を参照

WTD

サポート [1-11](#)

しきい値を設定する

出力キュー セット [38-31, 38-54](#)

入力キュー [38-50](#)

説明 [38-19](#)

---

## X

Xmodem プロトコル [47-7](#)

## あ

## アカウントティング

IEEE 802.1x での [13-13](#)

RADIUS での [12-17, 12-38](#)

TACACS+ での [12-6, 12-8, 12-34](#)

アクセス拒否応答、VMPS [17-15](#)

## アクセス グループ

レイヤ 2 [37-18](#)

## アクセス コントロール エントリ

「ACE」を参照

## アクセスする

クラスタ、スイッチ [6-11](#)

スイッチ クラスタ [6-11](#)

メンバスイッチ [6-11](#)

アクセス不能認証バイパス [13-22](#)

multiauth ポートのサポート [13-23](#)

## アクセス ポート

スイッチ クラスタでの [6-10](#)

定義済み [15-3](#)

## アクセス リスト

「ACL」を参照

アクティブ トラフィック モニタリング、IP SLA [45-1](#)アクティブ リンク [24-1, 24-4, 24-11, 24-12](#)

## アップグレードする、ソフトウェア イメージを

「ダウンロードする」を参照

## アップロードする

## イメージ ファイル

FTP を使用する [A-33](#)

RCP を使用する [A-38](#)

TFTP を使用する [A-29](#)

準備する [A-26, A-30, A-34](#)

理由 [A-25](#)

## 設定ファイル

FTP を使用する [A-16](#)

RCP を使用する [A-19](#)

TFTP を使用する [A-13](#)

準備する [A-12, A-14, A-17](#)

理由 [A-10](#)

宛先 IP アドレス ベース転送、EtherChannel [40-9](#)

宛先 MAC アドレス転送、EtherChannel [40-8](#)

## 宛先アドレス

IPv4 ACL での [37-14](#)

## アドバタイズメント

CDP [32-1](#)

LLDP [31-2](#)

VTP [17-11, 18-3](#)

## アドレス

IPv6 [42-2](#)

MAC、検出する [7-9](#)

## スタティック

追加と削除 [7-7](#)

定義済み [7-5](#)

## ダイナミック

エージング タイムを変更する [7-6](#)

エージングのアクセラレーション [20-8](#)

定義済み [7-5](#)

デフォルト エージング [20-8](#)

ラーニング [7-5](#)

## マルチキャスト

STP アドレス管理 [20-8](#)

アドレス解決 [7-9](#)

## アドレス解決プロトコル

「ARP」を参照

アドレスのエイリアス [28-2](#)

## アラーム

温度 [3-2](#)

電源装置 [3-2](#)

表示 [3-10](#)

## アラーム発生オプション

SNMP トラップ [3-4](#)

Syslog メッセージ [3-4](#)

方法 [3-3](#)

リレー設定 [3-3](#)

## アラーム プロファイル

作成または変更 [3-8](#)

暗号化、CipherSuite [12-25](#)

## 暗号化ソフトウェア イメージ

Kerberos [12-18](#)  
 SSH [12-1](#), [12-22](#)  
 SSL [12-23](#)

暗号化、パスワードの [12-3](#), [12-28](#)

## い

イーサネット VLAN

追加する [17-17](#)  
 デフォルトと範囲 [17-7](#)  
 変更する [17-17](#)

一時的な自己署名証明書 [12-25](#)

一致する、IPv4 ACL [37-5](#)

一般クエリー [24-11](#)

イネーブル化、SNMP トラップの [3-9](#)

イネーブル パスワード [12-3](#)

インターネットプロトコルバージョン 6

「IPv6」を参照

インターフェイス

Auto-MDIX、設定する [15-10](#), [15-16](#)  
 カウンタ、クリアする [15-19](#)  
 管理 [1-3](#)  
 再起動 [15-19](#)  
 サポートされる [15-5](#)  
 シャットダウンする [15-19](#)  
 情報を表示する [15-18](#)  
 設定時の注意事項  
   デュプレックスと速度 [15-9](#)  
 設定する  
   手順 [15-11](#)  
   タイプ [15-1](#)  
   デフォルト設定 [15-7](#)  
   デュプレックスと速度、設定する [15-15](#)  
   範囲 [15-12](#)  
   範囲マクロ [15-13](#)  
   物理、指定する [15-6](#)  
   フロー制御 [15-9](#), [15-15](#)  
   わかりやすい名前、追加 [15-16](#)  
 インターフェイス コマンド [15-6 ~ 15-11](#)

インターフェイス コンフィギュレーション モード [2-3](#)

インターフェイス タイプ [15-6](#)

インベントリ管理 TLV [31-3](#), [31-5](#)

## え

エージング タイマー、REP [23-9](#)

エージング タイム

MAC アドレス テーブル [7-13](#)

アクセラレーション

STP での [20-8](#)

エージング、短縮 [20-8](#)

永続的な自己署名証明書 [12-25](#)

エラー メッセージ、コマンド入力中の [2-5](#)

## お

応答側、IP SLA

説明 [45-3](#)

応答時間、IP SLA で測定する [45-4](#)

オプション、管理 [1-3](#)

オフ モード、VTP [18-3](#)

音声 VLAN

Cisco 7960 Phone、ポート接続 [19-1](#)

IP フォン音声トラフィック、説明 [19-2](#)

IP フォン データ トラフィック、説明 [19-3](#)

IP フォンへの接続 [19-4](#)

音声トラフィックに対してポートを設定する

802.1p プライオリティ タグ付きフレーム [19-5](#)

音声トラフィック用のポート設定

802.1Q フレーム [19-5](#)

設定時の注意事項 [19-3](#)

説明 [19-1](#)

データ トラフィックに対して IP 電話を設定する

着信フレームの CoS のオーバーライド [19-5](#)

着信フレームの CoS プライオリティの信  
 頼 [19-5](#)

デフォルト設定 [19-3](#)

表示する [19-6](#)

音声認識 802.1x セキュリティ

ポートベース認証

設定する [13-16](#)

説明 [13-16](#)

## か

階層、NTP [7-2](#)

階層型ポリシー マップ

設定時の注意事項 [38-5](#)

設定する [38-29](#), [38-43](#)

説明 [38-17](#)

階層ポリシー マップ [38-14](#)

カウンタ、インターフェイスをクリアする [15-19](#)

拡張 crashinfo ファイル [47-5](#)

拡張 LAN Base フィーチャ セット [46-2](#)

拡張システム ID

MSTP [21-15](#)

STP [20-4](#), [20-12](#)

拡張範囲 VLAN

設定 [17-8](#)

設定時の注意事項 [17-8](#)

内部 VLAN ID を指定した作成 [17-19](#)

拡張ユニバーサル識別情報

「EUI」を参照

カスタマイズ可能な Web ページ、Web ベース認証 [14-6](#)

仮想スイッチと PAgP [40-5](#)

簡易ネットワーク管理プロトコル

「SNMP」を参照

環境変数、機能 [4-11](#)

管理 VLAN

異なる管理 VLAN での検出 [6-8](#)

スイッチ クラスタでの考慮事項 [6-8](#)

管理 VLAN、REP [23-9](#)

管理アクセス

帯域外コンソール ポート接続 [1-5](#)

帯域内

CLI セッション [1-5](#)

SNMP [1-5](#)

デバイス マネージャ [1-5](#)

ブラウザ セッション [1-5](#)

管理アドレス TLV [31-2](#)

管理オプション

CLI [2-1](#)

CNS [5-2](#)

概要 [1-3](#)

## き

キー発行局

「KDC」を参照

機能、非互換 [29-8](#)

許可

RADIUS での [12-16](#), [12-38](#)

TACACS+ での [12-6](#), [12-7](#), [12-34](#)

許可 VLAN リスト [17-12](#)

許可ポート、IEEE 802.1x での [13-9](#)

緊急キュー、QoS の [38-57](#)

## く

クエリー、IGMP [28-4](#)

クエリー送信要求、IGMP [28-8](#)

クライアント モード、VTP [18-3](#)

クラスタ、スイッチ

LRE プロファイルの考慮事項 [6-13](#)

アクセスする [6-11](#)

管理する

CLI を使用して [6-13](#)

SNMP を介して [6-14](#)

互換性 [6-5](#)

自動検出 [6-5](#)

プランニングの考慮事項

CLI [6-13](#)

IP アドレス [6-11](#)

RADIUS [6-12](#)

SNMP [6-12](#), [6-14](#)

TACACS+ [6-12](#)

自動検出 [6-5](#)

パスワード [6-12](#)

ホスト名 [6-11](#)

利点 [1-2](#)

「候補スイッチ」、「コマンドスイッチ」、「クラスタスタンバイグループ」、「メンバスイッチ」、「スタンバイコマンドスイッチ」も参照

クラスタスタンバイグループ

定義済み [6-3](#)

要件 [6-2](#)

クラスマップ、QoSの

設定する [38-39](#)

説明 [38-13](#)

表示する [38-58](#)

クリアする、インターフェイスを [15-19](#)

クリティカルVLAN [13-22](#)

クリティカル認証、IEEE 802.1x [13-44](#)

グローバルコンフィギュレーションモード [2-2](#)

グローバルステータスマonitoringアラーム [3-2](#)

グローバルな脱退、IGMP [28-8](#)

クロック

「システムクロック」を参照

## け

ケーブル、単方向リンクのモニタリング [33-1](#)

ゲストVLANと802.1x [13-20](#)

権限レベル

回線に対するデフォルトを変更する [12-30](#)

概要 [12-2, 12-4](#)

既存の [12-31](#)

コマンドスイッチ [6-13](#)

コマンドを設定する [12-30](#)

メンバスイッチでのマッピング [6-13](#)

ロギング [12-31](#)

検出、クラスタ

「自動検出」を参照

検出する、間接リンク障害を、STP [22-5](#)

## こ

構成設定、保存する [4-18](#)

高速コンバージェンス [21-10](#)

高速スパンニングツリープロトコル

「RSTP」を参照

候補スイッチ

自動検出 [6-5](#)

定義済み [6-2](#)

要件 [6-2](#)

「コマンドスイッチ」、「クラスタスタンバイグループ」、「メンバスイッチ」も参照

互換性、機能 [29-8](#)

コマンド

no形式とdefault形式 [2-4](#)

短縮形 [2-4](#)

コマンド、権限レベルを設定する [12-30](#)

コマンドスイッチ

回復

失われたメンバ接続性からの [47-9](#)

設定の矛盾 [47-9](#)

定義済み [6-3](#)

パスワード権限レベル [6-13](#)

要件 [6-1](#)

「候補スイッチ」、「クラスタスタンバイグループ」、「メンバスイッチ」、「スタンバイコマンドスイッチ」も参照

コマンドモード [2-1](#)

コマンドラインインターフェイス

「CLI」を参照

コミュニティストリング

SNMP [6-12](#)

概要 [36-5](#)

クラスタスイッチの [36-5](#)

クラスタでの [6-12](#)

設定する [6-12, 36-7, 36-10](#)

壊れたソフトウェア、Xmodemでの回復手順 [47-7](#)

コンソールポート、接続する [2-10](#)

コンバージェンス

REP [23-5](#)



コンフィギュレーション ファイル

パスワード回復のディセーブル時の考慮事項 [12-3](#)

コンフィギュレーション ログギング [2-5](#)

## さ

サーバ モード、VTP [18-3](#)

サービス拒絶攻撃 [29-1](#)

サービス クラス

「CoS」を参照

サービス プロバイダー ネットワーク、MSTP および RSTP [21-1](#)

再確認間隔、VMPS、変更する [17-17](#)

最大数、ポートあたりのデバイスの、ポートベース認証 [13-34](#)

最適化する、システム リソースを [11-1](#)

サポートされるポートベース認証方式 [13-7](#)

## し

シーケンス番号、ログ メッセージの [35-8](#)

シェイプド ラウンドロビン

「SRR」を参照

時間範囲、ACL での [37-9, 37-17](#)

しきい値、トラフィック レベル [29-2](#)

しきい値のモニタリング、IP SLA [45-5](#)

時刻

「NTP とシステム クロック」を参照

システム記述 TLV [31-2](#)

システム機能 TLV [31-2](#)

システム クロック

概要 [7-1](#)

設定する

時間帯 [7-10](#)

手動で [7-9](#)

夏時間 [7-10](#)

「NTP」も参照

システム プロンプト、デフォルト設定 [7-5](#)

システム名

手動での設定 [7-11](#)

「DNS」も参照

システム名 TLV [31-2](#)

システム メッセージ ログギング

Syslog 機能 [1-12](#)

UNIX Syslog サーバ

サポートされる機能 [35-4](#)

デーモンを設定する [35-4](#)

ログギング機能を設定する [35-10](#)

エラー メッセージの重大度を定義する [35-9](#)

概要 [35-1](#)

機能キーワード、説明 [35-4](#)

シーケンス番号、イネーブルとディセーブル [35-8](#)

タイム スタンプ、イネーブルとディセーブル [35-8](#)

ディセーブルにする [35-6](#)

デフォルト設定 [35-5](#)

表示宛先デバイスを設定する [35-6](#)

メッセージの形式 [35-2](#)

メッセージを制限する [35-9](#)

レベル キーワード、説明 [35-3](#)

ログ メッセージの同期をとる [35-3, 35-7](#)

システム リソース、最適化する [11-1](#)

実行コンフィギュレーション

置き換える [A-21](#)

ロール バックする [A-21, A-22](#)

実行コンフィギュレーション、保存する [4-18](#)

自動 QoS

「QoS」を参照

自動イネーブル化 [13-29](#)

自動検出

考慮事項

CDP 非対応デバイス [6-7](#)

管理 VLAN [6-8](#)

クラスタ非対応デバイス [6-7](#)

異なる VLAN [6-7](#)

最新のスイッチ [6-10](#)

接続性 [6-5](#)

非候補デバイスの先 [6-8](#)

ルーテッド ポート [6-9](#)

- スイッチ クラスタでの **6-5**
    - 「CDP」も参照
  - 自動検知、ポート速度 **1-2**
  - 自動ネゴシエーション
    - インターフェイス設定時の注意事項 **15-9**
    - デュプレックス モード **1-2**
    - 不一致 **47-1**
  - 重大度、システム メッセージで定義する **35-9**
  - 柔軟な認証の順序設定
    - 概要 **13-28**
  - 集約グローバルユニキャストアドレス **42-3**
  - 集約ポート
    - 「EtherChannel」を参照
  - 集約ポリシング **1-11**
  - 集約ポリシング機能 **38-47**
  - 手動によるプリエンブション、REP、設定 **23-13**
  - 準備状態チェック
    - ポートベース認証
      - 設定する **13-14**
      - 説明 **13-14**
  - 冗長性
    - EtherChannel **40-2**
    - STP
      - パス コスト **17-14**
      - バックボーン **20-8**
      - ポートプライオリティ **17-13**
  - 初期設定
    - Express Setup **1-2**
    - デフォルト **1-12**
  - 侵入検知システム
    - 「IDS 装置」を参照
  - 信頼される境界、QoS の **38-27, 38-34**
  - 信頼状態、ポートの
    - IP 電話のポート セキュリティを確立する **38-27, 38-34**
    - QoS ドメイン間 **38-28, 38-35**
    - QoS ドメイン内 **38-26, 38-33**
    - 分類オプション **38-10**
- 
- す**
    - スイッチ コンソール ポート **1-5**
    - スイッチ情報の割り当て **4-4**
    - スイッチドポート **15-2**
    - スイッチドポート アナライザ
      - 「SPAN」を参照
    - スイッチのブート プロセス **4-1**
    - スイッチ プライオリティ
      - STP **20-17**
    - スケジューリング、IP SLA 動作 **45-5**
    - スケジュール、リロードの **4-12**
    - スタートアップ コンフィギュレーション
      - クリアする **A-20**
      - 設定ファイル
        - ファイル名を指定する **4-16**
      - ブーティング
        - 特定のイメージ **4-18**
    - スタティック MAC アドレッシング **1-7**
    - スタティック VLAN メンバーシップ **17-2**
    - スタティック アクセス ポート
      - VLAN に割り当てる **17-8, 17-18**
      - 定義済み **15-3, 17-3**
    - スタティック アドレス
      - 「アドレス」を参照
    - スタティック ルート
      - 概要 **42-5**
      - 設定 **41-4**
    - スタンバイ グループ、クラスタ
      - 「クラスタ スタンバイ グループ」と「HSRP」も参照
    - スタンバイ コマンド スイッチ
      - 設定する
        - 定義済み **6-3**
        - 要件 **6-2**
      - 「クラスタ スタンバイ グループ」と「HSRP」も参照
    - スティッキー ラーニング **29-5**
    - ストーム制御
      - サポート **1-2**
      - しきい値 **29-1**

設定する [29-3, 29-9](#)  
 表示する [29-17](#)  
 スヌーピング、IGMP [28-2](#)  
 スパニングツリーとネイティブ VLAN [17-11](#)  
 スパニングツリー プロトコル  
 「STP」を参照  
 スモールフレーム着信レート、設定する [29-11](#)

## せ

正規の時刻源、説明 [7-2](#)  
 制御プロトコル、IP SLA [45-3](#)  
 制限する、アクセスを  
 RADIUS [12-8](#)  
 TACACS+ [12-5](#)  
 概要 [12-2](#)  
 パスワードと権限レベル [12-2](#)  
 制限付き VLAN  
 IEEE 802.1x で使用する [13-21](#)  
 説明 [13-21](#)  
 整合性検査、VTP バージョン 2 での [18-5](#)  
 正常終了応答、VMPS [17-15](#)  
 生成する、IGMP レポートを [24-3](#)  
 セカンダリ エッジ ポート、REP [23-5](#)  
 セキュア HTTP クライアント  
 設定する [12-45](#)  
 セキュア MAC アドレス  
 最大数 [29-5](#)  
 タイプ [29-5](#)  
 セキュア シェル  
 「SSH」を参照  
 セキュア デジタル フラッシュ メモリ カード  
 SD フラッシュ メモリ カードを参照  
 セキュア ポート、設定する [29-4](#)  
 セキュア リモート接続 [12-22](#)  
 セキュリティ、ポート [29-4](#)  
 設計する、ネットワークを、例 [1-15](#)  
 接続、セキュア リモート [12-22](#)  
 設定、FCS エラー ヒステリシスしきい値の [3-8](#)

設定可能な脱退タイマー、IGMP [28-6](#)  
 設定時の注意事項  
 REP [23-8](#)  
 設定、初期  
 Express Setup [1-2](#)  
 デフォルト [1-12](#)  
 設定する、802.1x ユーザ ディストリビューション  
 を [13-46](#)  
 設定する、スモールフレーム着信レートを [29-11](#)  
 設定の置換 [A-21](#)  
 設定の変更、ロギング [35-10](#)  
 設定の矛盾、失われたメンバ接続性から回復する [47-9](#)  
 設定のロール バック [A-21](#)  
 設定ファイル  
 DHCP で取得する [4-9](#)  
 アーカイブする [A-21](#)  
 アップロードする  
 FTP を使用する [A-16](#)  
 RCP を使用する [A-19](#)  
 TFTP を使用する [A-13](#)  
 準備する [A-12, A-14, A-17](#)  
 理由 [A-10](#)  
 コピー時の無効な組み合わせ [A-6](#)  
 作成時と使用上の注意事項 [A-10](#)  
 実行コンフィギュレーションを置き換える [A-21](#)  
 実行コンフィギュレーションをロール バックする  
[A-21, A-22](#)  
 スタートアップ コンフィギュレーションを消去する  
[A-20](#)  
 説明 [A-9](#)  
 タイプと場所 [A-11](#)  
 ダウンロードする  
 FTP を使用する [A-15](#)  
 RCP を使用する [A-18](#)  
 TFTP を使用する [A-12](#)  
 準備する [A-12, A-14, A-17](#)  
 理由 [A-10](#)  
 置換とロール バックの注意事項 [A-22](#)  
 テキスト エディタを使用して作成する [A-11](#)  
 デフォルト名 [4-3](#)

ファイル名を指定する [4-16](#)  
 保存された設定を削除する [A-20](#)  
 設定例、ネットワーク [1-15](#)  
 設定ロガー [35-10](#)

## そ

送信元 IP アドレス ベース転送、EtherChannel [40-9](#)  
 送信元 IP アドレス ベース転送と宛先 IP アドレス ベース  
 転送、EtherChannel [40-9](#)  
 送信元 MAC アドレス転送、EtherChannel [40-8](#)  
 送信元 MAC アドレス転送と宛先 MAC アドレス転送、  
 EtherChannel [40-8](#)  
 送信元アドレス  
   IPv4 ACL での [37-14](#)  
 即時脱退、IGMP [28-5](#)  
   イネーブルにする [44-6, 44-8](#)  
 属性、RADIUS  
   ベンダー固有 [12-17](#)  
   ベンダー専用 [12-18, 12-39](#)  
 属性と値のペア [13-11, 13-13, 13-19, 13-20](#)  
 ソフトウェア イメージ  
   tar ファイル形式、説明 [A-25](#)  
   回復手順 [47-7](#)  
   フラッシュ内での場所 [A-25](#)  
   「ダウンロードとアップロード」も参照  
 ソフトウェアのリロード [4-12](#)

## た

ダイナミック ARP インспекション  
   ARP ACL と DHCP スヌーピング エントリのプライ  
   オリティ [26-4](#)  
   ARP キャッシュ ポイズニング [26-2](#)  
   ARP スプーフィング攻撃 [26-2](#)  
   ARP パケットのレート制限  
     errdisable ステート [26-4](#)  
     設定 [26-9](#)  
     説明 [26-4](#)

ARP 要求、説明 [26-1](#)  
 DHCP スヌーピング バインディング データベ  
 ース [26-2](#)  
 man-in-the middle 攻撃、説明 [26-2](#)  
 インターフェイス信頼状態 [26-3](#)  
 機能 [26-2](#)  
 設定  
   着信 ARP パケットのレート制限 [26-4, 26-9](#)  
   ログ バッファ [26-12](#)  
 設定時の注意事項 [26-6](#)  
 設定する  
   DHCP 環境での [26-7](#)  
   非 DHCP 環境の ACL [26-7](#)  
 説明 [26-1](#)  
 妥当性チェック、実行 [26-11](#)  
 ドロップされたパケットのロギング、説明 [26-5](#)  
 ネットワーク セキュリティ問題とインターフェイス  
 信頼状態 [26-3](#)  
 表示  
   ARP ACL [26-13](#)  
   信頼状態およびレート制限 [26-13](#)  
   設定および動作状態 [26-13](#)  
   レート制限を超過した場合の errdisable ステ  
   ート [26-4](#)  
   ログ バッファ  
     設定 [26-12](#)  
 ダイナミック アクセス ポート  
   設定する [17-23](#)  
   定義済み [15-3](#)  
   特性 [17-4](#)  
 ダイナミック ポート VLAN メンバーシップ  
   再確認する [17-17](#)  
   接続のタイプ [17-23](#)  
   説明 [17-15](#)  
   トラブルシューティング [17-17](#)  
 タイプ オブ サービス  
   「ToS」を参照  
 タイム スタンプ、ログ メッセージの [35-8](#)  
 タイム ゾーン [7-10](#)  
 タイム ドメイン反射率計

「TDR」を参照

ダウンロード可能 ACL [13-18, 13-20, 13-48](#)

ダウンロードする

イメージファイル

- FTP を使用する [A-31](#)
- HTTP を使用する [A-24](#)
- RCP を使用する [A-36](#)
- TFTP を使用する [A-27](#)
- 準備する [A-26, A-30, A-34](#)
- デバイス マネージャまたは Network Assistant を使用する [A-24](#)
- 古いイメージを削除する [A-28](#)
- 理由 [A-25](#)

設定ファイル

- FTP を使用する [A-15](#)
- RCP を使用する [A-18](#)
- TFTP を使用する [A-12](#)
- 準備する [A-12, A-14, A-17](#)
- 理由 [A-10](#)

短時間でのコンバージェンス [24-3](#)

短縮形、コマンドの [2-4](#)

端末回線、パスワードを設定する [12-29](#)

---

## つ

ツイストペア イーサネット、単方向リンクを検出する [33-1](#)

---

## て

ディファレンシエーテッド サービス アーキテクチャ、QoS [38-2](#)

ディファレンシエーテッド サービス コード ポイント [38-2](#)

ディレクトリ

作業ディレクトリを表示する [A-5](#)

作成と削除 [A-5](#)

変更する [A-5](#)

デバイス検出プロトコル [31-1, 32-1](#)

デバイス マネージャ

説明 [1-2, 1-3](#)

帯域内管理 [1-5](#)

利点 [1-2](#)

デバッグする

エラー メッセージ出力をリダイレクトする [47-13](#)

すべてのシステム診断をイネーブルにする [47-12](#)

特定機能に対してイネーブルにする [47-12](#)

デフォルト ゲートウェイ [4-15, 4-16](#)

デフォルト設定

802.1x [13-31](#)

DHCP [25-8](#)

DHCP オプション 82 [25-8](#)

DHCP スヌーピング [25-8](#)

DHCP スヌーピング バインディング データベース [25-8](#)

DNS [7-4](#)

EtherChannel [40-10](#)

Flex Link [24-5](#)

IGMP スヌーピング [28-7, 44-5](#)

IGMP フィルタリング [28-14](#)

LLDP [31-4](#)

MAC アドレス テーブル移動更新 [24-5](#)

MSTP [21-14](#)

MVR [28-12](#)

PROFINET [9-4](#)

PTP [8-2](#)

RADIUS [12-10](#)

REP [23-7](#)

RSPAN [30-11](#)

SNMP [36-9](#)

SPAN [30-11](#)

SSL [12-24](#)

STP [20-11](#)

TACACS+ [12-7](#)

UDLD [33-4](#)

VLAN [17-7](#)

VMPS [17-16](#)

VTP [18-9](#)

イーサネット インターフェイス [15-7](#)

- オプションのスパニングツリー設定 **22-9**
  - 音声 VLAN **19-3**
  - システム メッセージ ロギング **35-5**
  - 自動 QoS **39-3**
  - パスワードと権限レベル **12-2**
  - 標準 QoS **38-6**
  - レイヤ 2 インターフェイス **15-14**
  - デフォルトの Web ベース認証の設定
    - 802.1X **14-10**
  - デュアル IPv4/IPv6 テンプレート **11-3, 42-5**
  - デュアルアクションの検出 **40-5**
  - デュアルパーパス アップリンク
    - LED **15-4**
    - タイプを設定する **15-14**
    - 定義済み **15-4**
    - リンクの選択 **15-4**
  - デュアル プロトコル スタック
    - IPv4 と IPv6 **42-5**
    - SDM テンプレートのサポート **42-5**
  - 電源管理 TLV **31-2, 31-5**
- 
- と**
- トークンリング VLAN
    - VTP サポート **18-5**
    - サポート **17-6**
  - 統計情報
    - QoS の入力と出力 **38-58**
    - RMON グループ イーサネット **34-4**
    - RMON グループ履歴 **34-4**
    - VTP **18-15**
    - インターフェイス **15-18**
  - 都市ロケーション **31-3**
  - 特権 EXEC モード **2-2**
  - ドメイン ネーム システム
    - 「DNS」を参照
  - ドメイン名
    - DNS **7-4**
    - VTP **18-10**
  - トラストポイント、CA **12-24**
  - トラップ
    - MAC アドレス通知を設定する **7-14, 7-15**
    - 概要 **36-2, 36-5**
    - 通知タイプ **36-8**
    - 定義済み **36-4**
    - マネージャを設定する **36-7, 36-13**
    - 有効化 **7-14, 7-15, 36-7, 36-13**
  - トラップ ドア メカニズム **4-2**
  - トラフィック
    - 非フラグメント化 **37-4**
    - フラグメント化 **37-4**
    - フラッドのブロッキング **29-11**
  - トラフィックの抑制 **29-1**
  - トラフィック ポリシング **1-11**
  - トラブルシューティング
    - CiscoWorks での **36-5**
    - CPU 使用率 **47-6**
    - ping による **47-2**
    - SFP セキュリティと識別情報 **47-2**
    - show forward コマンド **47-14**
    - traceroute での **47-4**
    - クラッシュ情報を表示する **47-5**
    - システム メッセージ ロギングでの **35-1**
    - パケット転送を設定する **47-14**
  - トランキングのカプセル化 **1-7**
  - トランク
    - DTP をサポートしないデバイス **17-10**
    - 許可 VLAN リスト **17-12, 17-20**
    - タグなしトラフィック用ネイティブ VLAN **17-13, 17-21**
    - パラレル **17-14**
    - ブルーニング適格リスト **17-20**
    - ロード シェアリング
      - STP パス コストを設定する **17-14**
      - STP ポート プライオリティを使用する **17-13**
  - トランク フェールオーバー
    - 「リンクステート トラッキング」を参照
  - トランク ポート

定義済み [15-3, 17-3](#)

トランスペアレント モード、VTP [18-3](#)

## な

夏時間 [7-10](#)

名前付き IPv4 ACL [37-8](#)

並べ替え、ACL エントリ [37-8](#)

## に

認証

AAA でのローカル モード [12-21, 12-40](#)

OpenIx [13-28](#)

RADIUS

キー [12-15](#)

ログイン [12-16, 12-37](#)

TACACS+

キー [12-7, 12-32](#)

定義済み [12-6](#)

ログイン [12-7, 12-32](#)

認証失敗 VLAN

「制限付き VLAN」を参照

認証マネージャ

CLI コマンド [13-8](#)

概要 [13-7](#)

## ね

ネイティブ VLAN

設定する [17-13, 17-21](#)

デフォルト [17-13](#)

ネイバー オフセット番号、REP [23-5](#)

ネイバー探索、IPv6 [42-4](#)

ネットワーク エッジ アクセス トポロジ

「NEAT」を参照

ネットワーク管理

CDP [32-1](#)

RMON [34-1](#)

SNMP [36-1](#)

ネットワーク タイム プロトコル

「NTP」を参照

ネットワークの設計

サービス [1-15](#)

ネットワークの設定例

ネットワーク サービスを提供する [1-15](#)

ネットワーク パフォーマンスを改善する [1-15](#)

ネットワーク パフォーマンス、IP SLA で測定する [45-3](#)

ネットワーク ポリシー TLV [31-2, 31-5](#)

## は

バージョン依存のトランスペアレント モード [18-5](#)

バインディング

DHCP スヌーピング データベース [25-7](#)

IP ソース ガード [27-2](#)

アドレス、Cisco IOS DHCP サーバ [25-6](#)

バインディング データベース

DHCP スヌーピング

「DHCP スヌーピング バインディング データベース」を参照

アドレス、DHCP サーバ

「DHCP、Cisco IOS サーバ データベース」を参照

バインディング テーブル、DHCP スヌーピング

「DHCP スヌーピング バインディング データベース」を参照

パケットの変更、QoS での [38-25](#)

パス コスト

MSTP [21-16](#)

STP [20-13, 20-17](#)

パスワード

VTP ドメイン [18-11](#)

暗号化 [12-3, 12-28](#)

回復 [47-9](#)

回復をディセーブルにする [12-3, 12-28](#)

概要 [12-2](#)

クラスタでの **6-12**  
 セキュリティ **1-7**  
 設定する  
     Telnet **12-29**  
     イネーブル **12-27**  
     シークレットをイネーブルにする **12-3, 12-28**  
     ユーザ名での **12-4**  
 デフォルト設定 **12-2**  
 バックアップ インターフェイス  
     「Flex Link」を参照  
 バックアップ リンク **24-1**  
 バナー  
     設定する  
         Message-of-the-Day ログイン **7-12**  
         ログイン **7-13**  
     表示時 **7-4**  
 パフォーマンス、ネットワークの設計 **1-15**  
 範囲  
     マクロ **15-13**

---

## ひ

非 IP トラフィック フィルタリング **37-11**  
 非階層型ポリシー マップ  
     設定時の注意事項 **38-5**  
     説明 **38-15**  
 光ファイバ、単一方向リンクの検出 **33-1**  
 非トランッキング モード **17-10**  
 非認識 Type-Length-Value (TLV) サポート **18-5**  
 表示、スイッチ アラームの **3-10**  
 標準範囲 VLAN **17-4**  
     設定時の注意事項 **17-6**  
     設定する **17-4**

---

## ふ

ブーティング  
     特定のイメージ **4-18**  
     ブート プロセス **4-1**

    ブートローダ、機能 **4-2**  
 ブートローダ  
     アクセス **4-10**  
     環境変数 **4-10**  
     説明 **4-2**  
     トラップ ドア メカニズム **4-2**  
     プロンプト **4-10**  
 ファイル  
     crashinfo、説明 **47-5**  
     tar  
         イメージ ファイルの形式 **A-25**  
         作成する **A-7**  
         抽出する **A-8**  
         内容を表示する **A-8**  
     拡張 crashinfo  
         説明 **47-6**  
         場所 **47-6**  
     基本 crashinfo  
         説明 **47-5**  
         場所 **47-5**  
     コピーする **A-6**  
     削除 **A-7**  
     内容を表示する **A-9**  
 ファイル システム  
     使用可能なファイル システムを表示する **A-2**  
     デフォルトを設定する **A-3**  
     ネットワーク ファイル システム名 **A-6**  
     ファイル情報を表示する **A-4**  
     ローカル ファイル システム名 **A-1**  
 不一致、自動ネゴシエーション **47-1**  
 フィルタ、IP  
     「ACL、IP」を参照  
 フィルタリング  
     show コマンドと more コマンドの出力 **2-10**  
     非 IP トラフィック **37-11**  
     フィルタリング、show コマンドと more コマンドの出力  
     の **2-10**  
     フォールバック ブリッジング  
         VLAN ブリッジ STP **20-10**



インターフェイスを接続する **15-5**  
 複数認証 **13-11**  
 複数認証モード  
   設定する **13-38**  
 物理ポート **15-2**  
 プライオリティ  
   CoS の上書き **19-5**  
   CoS を信頼する **19-5**  
 プライベート VLAN エッジ ポート  
   「保護ポート」を参照  
 プライマリ エッジ ポート、REP **23-5**  
 プライマリ リンク **24-2**  
 フラッシュ デバイス、番号 **A-1**  
 プリエンプション遅延時間、REP **23-6**  
 ブリッジプロトコル データ ユニット  
   「BPDU」を参照  
 プルーニング、VTP  
   イネーブルにする  
     VTP ドメインで **18-13**  
     ポート上での **17-20**  
   概要 **18-8**  
   例 **18-8**  
 プルーニング適格リスト  
   VTP プルーニングの **18-8**  
   変更する **17-20**  
 フロー制御  
   説明 **15-9**  
 フローチャート  
   QoS 出力キューイングとスケジューリング **38-23**  
   QoS 入力キューイングとスケジューリング **38-21**  
   QoS 分類 **38-12**  
   QoS ポリシングとマーキング **38-16**  
 ブロードキャスト ストーム **29-1**  
 フローベース パケット分類 **1-10**  
 プロキシ レポート **24-3**  
 ブロッキング パケット **29-4, 29-11**  
 プロトコル ストーム プロテクション **29-9**  
 プロファイル外マークダウン **1-11**

---

へ

ヘルプ、コマンドライン **2-3**  
 編集機能  
   イネーブルとディセーブル **2-7**  
   使用されたキーストローク **2-7**  
   ラップされた行 **2-9**

---

ほ

ポート  
   REP **23-7**  
   VLAN の割り当て **17-8, 17-18**  
   アクセス **15-3**  
   スイッチ **15-2**  
   スタティック アクセス **17-3, 17-8, 17-18**  
   セキュア **29-4**  
   ダイナミック アクセス **17-4**  
   デュアルパーパス アップリンク **15-4**  
   トランク **17-3, 17-9**  
   ブロッキング **29-4, 29-11**  
   保護される **29-3**  
 ポート ACL  
   タイプ **37-2**  
   定義 **37-2**  
 ポート VLAN ID TLV **31-2**  
 ポート記述 TLV **31-2**  
 ポート シャットダウン応答、VMPS **17-15**  
 ポート ステータス モニタリング アラーム  
   FCS Bit Error Rate アラーム **3-3**  
   Link Fault アラーム **3-3**  
   Port not Forwarding アラーム **3-3**  
   Port not Operating アラーム **3-3**  
 ポート セキュリティ  
   QoS 信頼境界と **38-27, 38-34**  
   違反 **29-5**  
   エージング **29-8, 29-16**  
   スティッキー ラーニング **29-5**  
   説明 **29-4**

- トランク ポートでの [29-14](#)
- 表示 [29-17](#)
- ポートチャンネル
  - 「EtherChannel」を参照
- ポートの信頼状態
  - サポート [1-11](#)
- ポート プライオリティ
  - MSTP [21-16](#)
  - STP [20-13, 20-17](#)
- ポートブロッキング [1-2, 29-4, 29-11](#)
- ポートベース認証
  - EAPOL-Start フレーム [13-5](#)
  - EAP-Request/Identity フレーム [13-5](#)
  - EAP-Response/Identity フレーム [13-5](#)
  - VLAN 割り当て
    - AAA 認証 [13-34](#)
    - 設定タスク [13-16](#)
    - 説明 [13-15](#)
    - 特性 [13-15](#)
  - Wake-on-LAN、説明 [13-25](#)
  - アカウントिंग [13-13](#)
  - アクセス不能認証バイパス
    - 設定する [13-44](#)
    - 注意事項 [13-33](#)
  - イネーブル化
    - 802.1x 認証 [14-10, 14-12](#)
  - 音声 VLAN
    - PVID [13-24](#)
    - VVID [13-24](#)
    - 説明 [13-24](#)
  - 音声認識 802.1x セキュリティ
    - 設定する [13-16](#)
    - 説明 [13-16](#)
  - 開始およびメッセージ交換 [13-5](#)
  - カプセル化 [13-2](#)
  - クライアント、定義 [13-2, 14-2](#)
  - ゲスト VLAN
    - 設定時の注意事項 [13-21, 13-22](#)
    - 説明 [13-20](#)
  - 柔軟な認証の順序設定
    - 概要 [13-28](#)
  - 準備状態チェック
    - 設定する [13-14](#)
    - 説明 [13-14](#)
  - スイッチ
    - RADIUS クライアント [13-2](#)
    - プロキシとして [13-2, 14-3](#)
  - スイッチ サプリカント
    - 概要 [13-28](#)
    - 設定する [13-48](#)
  - 設定
    - スイッチ上の RADIUS サーバ パラメータ [13-5, 13-36, 14-10](#)
  - 設定する
    - アクセス不能認証バイパス [13-44](#)
    - ゲスト VLAN [13-42](#)
    - 制限付き VLAN [13-43](#)
    - ホスト モード [13-38](#)
  - 説明 [13-1](#)
  - ダウンロード可能 ACL とリダイレクト URL
    - 概要 [13-18 ~ 13-20](#)
  - デバイスの役割 [13-2, 14-2](#)
  - デフォルト値へのリセット [13-51](#)
  - デフォルト設定 [13-31, 14-10](#)
  - 認証サーバ
    - RADIUS サーバ [13-2](#)
    - 定義 [13-2, 14-3](#)
  - 複数認証 [13-11](#)
  - ポート
    - 音声 VLAN [13-24](#)
    - 許可および無許可 [13-9](#)
    - 許可ステートおよび dot1x port-control コマンド [13-9](#)
  - ポートあたりのデバイスの最大数 [13-34](#)
  - ポート セキュリティ
    - 説明 [13-24](#)
  - 方式リスト [13-34](#)
  - ホスト モード [13-10](#)

- マジック パケット [13-25](#)
  - ユーザ単位 ACL
    - AAA 許可 [13-34](#)
    - 設定タスク [13-18](#)
    - 説明 [13-17](#)
  - ユーザ単位の ACL
    - RADIUS サーバ属性 [13-17](#)
  - ユーザ ディストリビューション
    - 概要 [13-26](#)
    - 注意事項 [13-27](#)
  - ポート ベース認証の設定プロセス [13-34](#)
  - ポートベース認証方式、サポートされる [13-7](#)
  - ポート メンバーシップ モード、VLAN [17-3](#)
  - 防止する、不正アクセスを [12-2](#)
  - 保護ポート [1-7, 29-3](#)
  - 補助 VLAN
    - 「音声 VLAN」を参照
  - ホスト、ダイナミック ポートでの制限 [17-17](#)
  - ホスト名、クラスタでの [6-11](#)
  - ポリシー マップ、QoS の
    - SVI での階層
      - 設定時の注意事項 [38-5](#)
      - 設定する [38-29, 38-43](#)
      - 説明 [38-17](#)
    - 階層 [38-14](#)
    - 説明 [38-13](#)
    - 特性 [38-28](#)
    - 表示する [38-58](#)
    - 物理ポートでの非階層
      - 設定時の注意事項 [38-5](#)
      - 説明 [38-15](#)
  - ポリシング
    - 階層
      - 「階層型ポリシー マップ」を参照
    - 説明 [38-4](#)
    - トークン バケット アルゴリズム [38-15](#)
  - ポリシング機能
    - 数 [38-6](#)
    - 設定する
      - 各一致トラフィック クラスでの [38-28](#)
      - 複数トラフィック クラスでの [38-47](#)
    - 説明 [38-4](#)
    - タイプ [38-15](#)
    - 表示する [38-58](#)
  - ポリシング済み DSCP マップ、QoS での [38-49](#)
- 
- ## ま
- マーキング
    - 集約ポリシング機能でのアクション [38-47](#)
    - 説明 [38-4, 38-14](#)
  - マジック パケット [13-25](#)
  - マッピング テーブル、QoS の
    - 設定する
      - CoS/DSCP [38-48](#)
      - DSCP [38-48](#)
      - DSCP/CoS [38-49](#)
      - DSCP/DSCP 変換 [38-30, 38-50](#)
      - IP precedence/DSCP [38-49](#)
      - ポリシング済み DSCP [38-49](#)
    - 説明 [38-18](#)
  - マルチキャスト TV アプリケーション [28-10](#)
  - マルチキャスト VLAN [28-9](#)
  - マルチキャスト VLAN レジストレーション
    - 「MVR」を参照
  - マルチキャスト グループ
    - 加入 [28-3](#)
    - スタティックな加入 [44-7](#)
    - 即時脱退 [28-6](#)
    - 脱退 [28-5](#)
  - マルチキャスト ストーム [29-1](#)
  - マルチキャスト ルータ インターフェイス、モニタリング [28-21, 44-10](#)
  - マルチキャスト ルータ ポート、追加する [28-16, 44-6](#)
  - マルチドメイン認証
    - 「MDA」を参照

**み**

ミラーリング トラフィック、分析用の [30-2](#)

**む**

無許可ポート、IEEE 802.1x での [13-9](#)

矛盾、設定 [47-9](#)

**め**

メッセージ、ユーザに対するバナーを使用した [7-4](#)

メンバーシップ モード、VLAN ポート [17-3](#)

メンバスイッチ

失われた接続性から回復する [47-9](#)

管理する [6-13](#)

「候補スイッチ」、「クラスタ スタンバイ グループ」、  
「スタンバイ コマンド スイッチ」も参照

自動検出 [6-5](#)

定義済み [6-3](#)

パスワード [6-11](#)

要件 [6-2](#)

**も**

モニタリング

CDP [32-3](#)

IGMP

スヌーピング [44-10](#)

PTP [8-3, 8-4](#)

SFP ステータス [47-14](#)

VTP [18-15](#)

アラーム [3-10](#)

スイッチ間でのトラフィック フロー [34-1](#)

速度モードとデュプレックス モード [15-15](#)

単方向リンク用のケーブル [33-1](#)

プローブでの分析用のネットワーク トラフィック  
ク [30-2](#)

ポート

ブロッキング [29-17](#)

保護 [29-17](#)

マルチキャスト ルータ インターフェイス [28-21, 44-10](#)

**ゆ**

ユーザ EXEC モード [2-2](#)

ユーザ単位 ACL と Filter-Id [13-8](#)

ユーザ名ベース認証 [12-4](#)

優先処理、トラフィックの

「QoS」を参照

優先遅延、デフォルト設定 [24-5](#)

優先、デフォルト設定 [24-5](#)

誘導ユニキャスト要求 [1-4](#)

ユニキャスト MAC アドレス フィルタリング [1-4](#)

CPU パケットと [7-7](#)

スタティック アドレスを追加する [7-7](#)

設定時の注意事項 [7-7](#)

説明 [7-7](#)

ブロードキャスト MAC アドレスと [7-7](#)

マルチキャスト アドレスと [7-7](#)

ルータ MAC アドレスと [7-7](#)

ユニキャスト ストーム [29-1](#)

**ら**

ライン コンフィギュレーション モード [2-3](#)

**り**

リークする、IGMP レポートを [24-4](#)

リダイレクト URL [13-18, 13-19, 13-48](#)

リモート SPAN

「RSPAN」を参照

リモート コピー プロトコル

「RCP」を参照

履歴

コマンドを呼び出す [2-6](#)

説明 2-6  
 ディセーブルにする 2-7  
 バッファ サイズを変更する 2-6  
 履歴テーブル、Syslog メッセージのレベルと番号 35-9  
 リンク完全性、REP を使用した確認 23-4  
 リンク障害、単一方向の検出 21-7  
 リンク冗長性  
 「Flex Link」を参照  
 リンクステート トラッキング  
 設定する 43-5  
 説明 43-1  
 リンク、単方向 33-1  
 リンク ローカルユニキャスト アドレス 42-3

---

## る

ルーテッド ポート  
 スイッチ クラスタでの 6-9  
 ルート ガード  
 サポート 1-6  
 説明 22-8  
 ルート スイッチ  
 MSTP 21-15, 21-18  
 STP 20-11, 20-16  
 ループ ガード  
 サポート 1-6  
 説明 22-9

---

## れ

例  
 ネットワーク設定 1-15  
 レイヤ 2 NAT 46-1  
 レイヤ 2 traceroute  
 1 ポートに複数のデバイス 47-4  
 ARP 47-3  
 CDP 47-3  
 IP アドレスおよびサブネット 47-3  
 MAC アドレスおよび VLAN 47-3

使用上の注意事項 47-3

説明 47-3  
 ブロードキャスト トラフィック 47-3  
 マルチキャスト トラフィック 47-3  
 ユニキャスト トラフィック 47-3  
 レイヤ 2 インターフェイス、デフォルト設定 15-14  
 レイヤ 2 フレーム、CoS での分類 38-2  
 レイヤ 3 インターフェイス  
 IP アドレスの割り当て 41-4  
 レイヤ 2 モードからの変更 41-4  
 レイヤ 3 パケット、分類方式 38-2  
 レポート抑制、IGMP  
 説明 28-6

---

## ろ

ローカル SPAN 30-2  
 ロギング メッセージ、ACL 37-6  
 ログイン認証  
 RADIUS での 12-16, 12-37  
 TACACS+ での 12-7, 12-32  
 ログイン バナー 7-4  
 ロケーション TLV 31-3, 31-5

---

## わ

ワイヤード ロケーション サービス  
 概要 31-3  
 設定する 31-8  
 表示する 31-9  
 ロケーション TLV 31-3

